

こんな
取組です

熊本県教育委員会 地域学校協働活動モデル地域指定事業(天草教育事務所管内) 絆と笑顔あふれる宝の島“天草” ～地域と学校が手を組めば最強タッグ～

天草市教育委員会	●目指す子供の姿	●身に付けさせたい子供の力
	人と出会い、交わり、一歩前進	
学校や地域の課題	①目指す子供の姿の共有が、地域と学校間で浸透していない。 ②地域課題の解決に向けた、児童生徒の参画や体験活動などが活発に行われていない。 ③地域学校協働活動の意義や必要性、内容の理解が、地域や学校に広がっていない。	

●取組の概要・特徴や工夫

- ①活動に参加した子供、教職員、高校生、地域住民及び推進員へのインタビューを収録し、実践交流会や講演等で活用した。
- ②地域学校協働活動推進員の定例会を開催し、課題や取組内容等を共有した。
- ③地区公民館長、地域団体等と推進員の情報などを共有するために、地域学校協働活動推進員との合同会議を開催した。
- ④市公式YouTubeを活用して、地域学校協働活動の取組等を紹介した。
- ⑤学校便りや地域団体の便りに、地域学校協働活動についての記事を寄稿した。
- ⑥市内校長会、教頭研修会及び教務主任研修会等で地域学校協働活動の取組等について紹介した。
- ⑦1年間の活動をまとめた報告書を作成し、人材ボランティアの活用を推進につなげている。
- ⑧活動の取組等について、パネル展を開催した。天草市青少年健全育成・教育フォーラムでも展示した。
- ⑨地域学校協働活動推進員の研修会等(CSIに関する全国の研修会、社会教育関係フォーラム等)への参加を促進した。
- ⑩課題等の熟議を行うと共に、教職員と推進員の連携を図るため、地域学校協働支部を学校内に設置している。

●取組の実際



地域の方に教えていただいた“箏クラブ”の子供たちが、市民センターで開催された芸術祭で発表し、地域貢献しました。



地域の方に“しめ縄”づくりを教えてもらい、立派な“しめ縄”が出来上がりました。

●地域学校協働活動における効果・成果

- 一体的な推進
 地域学校協働活動に関しては、学校運営協議会で熟議されているところではあるが、地域学校協働支部(学校内または中学校区内で、推進員と管理職及び地域連携担当者が参加して打ち合わせをする)を設置することで、更に細かい熟議ができ、活動の成果や課題を学校内で共有し、教職員と推進員が一体的に推進していく土壌づくりができてきた。
 推進員からは「教職員とのコミュニケーションのきっかけ作りができた」、「校長先生から活動に取り組むことで子供たちや教育課題により広い視野から向き合うことができるようになったとの言葉を聞くことができた」、「地域学校協働活動有りきではなく、学校が前進するためのツールとして地域学校協働活動を活用しようという雰囲気が出てきた」、「活動への負担感が減ってきているように思う」など、一歩前進した効果が出てきている。
- 推進員の一歩前進した取組
 推進員が、定例会での課題等の共有や様々な研修会に参加することにより、「学校課題へのアプローチの手法」、「地域課題へのアプローチの手法」を学び、それぞれの課題解決に向けた提案が増えてきている。
 地域住民の学校支援、子供たちの地域支援の輪も広がりがつつあり、それぞれが何をすべきか考える機会ができ、子供と大人が共に学ぶ地域づくりが進められている。
- 学校や地域が抱える課題の解決
 天草市公式YouTubeや地域の便りなどで活動の取組についての周知や活動に参加した方々の感想などインタビューした生の声を使った資料を基に講演等で発表することで、活動についての意義や必要性、内容の理解は浸透しつつある。
 また、子供たちが積極的に地域貢献することで、人と交わる楽しさ、人と協力し合う大切さを実感するなど、コミュニケーション能力の向上につながっている。